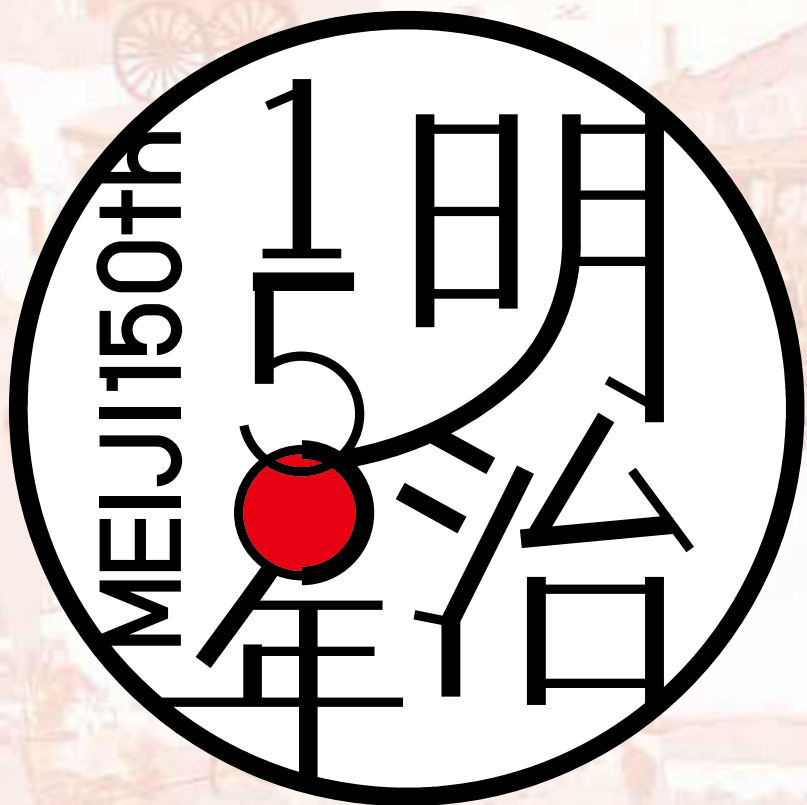


明治の歩みを

つなぐ、つたえる





「明治150年」

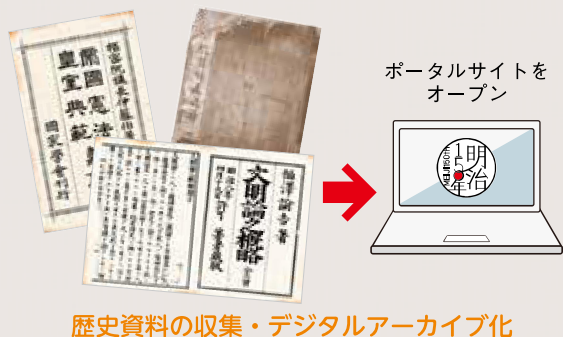
平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から満150年の年に当たります

明治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した日本は、明治期において多岐にわたる近代化への取組を行い、国の基本的な形を築き上げていきました。内閣制度の導入、大日本帝国憲法の制定、立憲政治・議会政治の導入、鉄道の開業や郵便制度の施行など技術革新と産業化の推進、義務教育の導入や女子師範学校の設立といった教育の充実を始めとして、多くの取組が進められました。また、若者や女性等が海外に留学して知識を吸収し、外国人から学んだ知識を活かしつつ、単なる西洋の真似ではない、日本の良さや伝統を活かした技術や文化も生み出されました。

政府では、「明治150年」を迎える平成30年(2018年)を節目として、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくために、地方公共団体や民間企業とも一緒になって様々な取組をしています。

●「明治以降の歩みを次世代に遺す」

明治150年アーカイブス

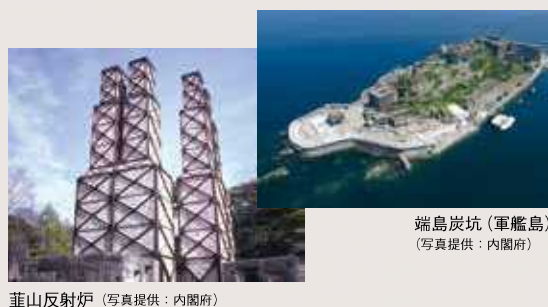


重要文化財 旧奈良監獄の公開・活用



●「明治の精神に学び、更に飛躍する国へ」

「明治日本の産業革命遺産」を核とした産業遺産に関する理解増進



世界一の生糸産業から学ぶ



内閣官房「明治150年」関連施策推進室

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>

